岩手県

日本生命は岩手県と包括連携協定を締結し、
地域に根差した取組を進めています。

20歳をすぎたら始めよう

子宮頸がん検診

Medical checkups



ご存知ですか？

20代後半の若いうちから

かかる人が増えている「子宮頸がん」。

でも早期発見・治療できれば

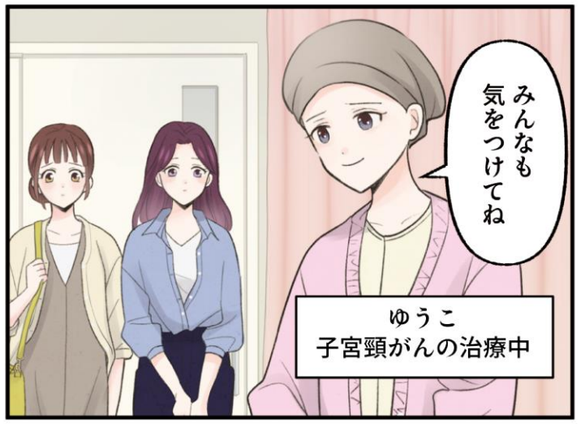
90%以上が助かるんです！*

*国立がん研究センター　がん情報サービス「院内がん登録生存率集計」

子宮頸がん検診は、
20歳以上
が対象です

定期的に
受診する
ことが大切です





日本生命保険相互会社

NISSAY

検診の流れ



医療機関を選ぶ

医療機関に予約をとる。※予約不要な医療機関もあります。
健康保険証・子宮がん検診問診票・自己負担金を持参し、受診してください。
※月経時は避けて受診しましょう。

問　診

問診では、一番最近の月経、妊娠・出産の経験があるか、
月経以外の性器出血などの症状の有無、検診受診状況、子宮頸がんや異型上皮*で
病院に通院したことがあるかなどを医師から確認いたします。

＊子宮頸部異型上皮・・・子宮頸部異形成ともいいます。がんになる前の状態（前癌病変）を指します。



内診・細胞診

膣鏡を使い子宮頸部を観察し、専用器具で子宮頸部をこすって細胞を採取します。
内診では、子宮や卵巣の大きさを調べます。採取した細胞を、病理検査の専門家が顕微鏡で診断します。
診察時はゆったりした服装がおすすめです。

検診結果



検診結果は、検診後概ね30日前後で自宅に届きます。
検診結果が「要精密検査」の場合は、必ず精密検査を受診しましょう。
検診結果が「異常認めず」の場合でも、定期的ながん検診の受診が大切です。

※がん検診は、正しい方法を正しく行うことで、がんによる死亡リスクの低下が期待できる一方、「エックス線検査による放射線被ばく」等のデメリットがあるとされています。
がん検診に対する理解を深め、健康と安心のために適切に利用してください。詳細は以下のURLをご確認ください。
https://www.nissay.co.jp/mail/bira/gankenshin/index.html

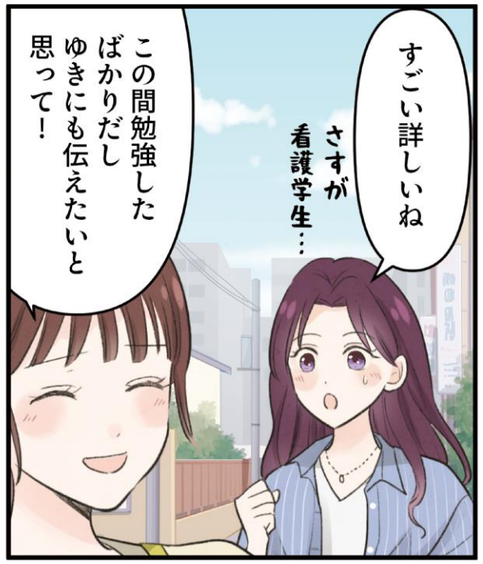
日本生命保険相互会社
盛岡支社

（2026-102G,安心の多面体企画部）（005-26-172）



（公財）日本生命済生会　日本生命病院監修





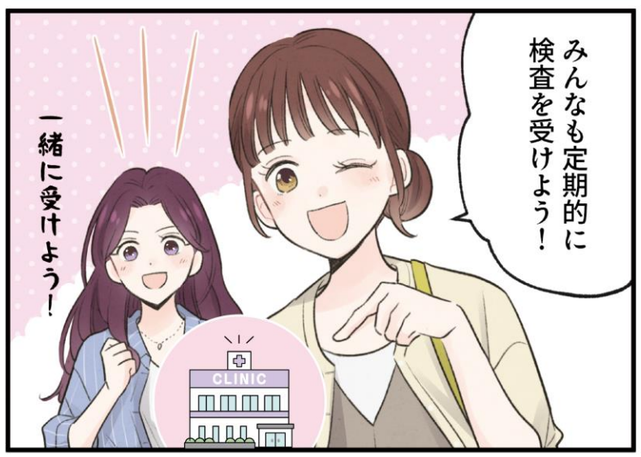




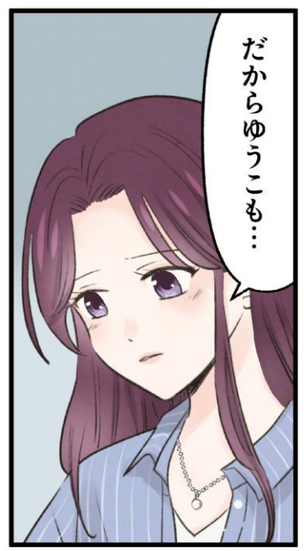


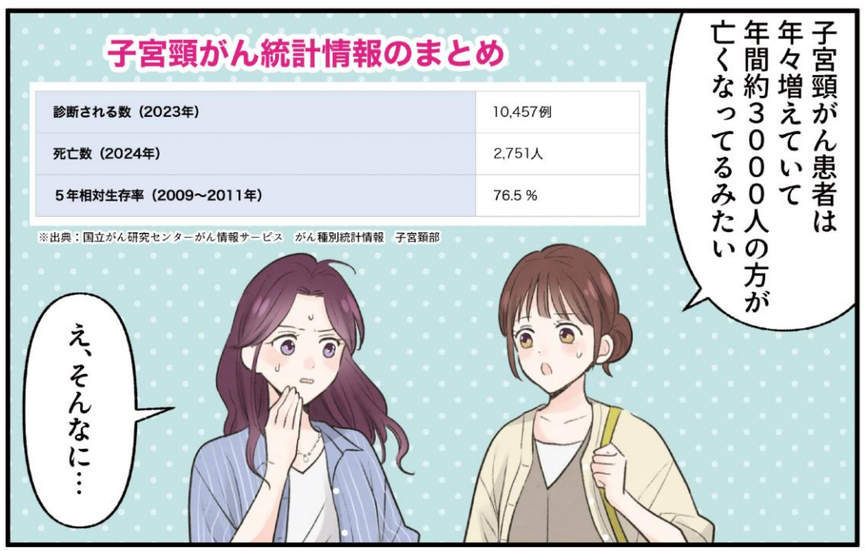












万一、罹患した場合

入院費や手術費だけでなく、
思いがけない負担がかかることもあります。

- ウィッグ（かつら）
- 後遺症に伴う治療費等
- 不妊リスクへの費用